



じょう こうじ
城 浩仁さん

昭和38年生まれ、隈府在住。菊池温泉観光旅館協同組合副理事長。温泉入浴指導員の資格を持つ。(城乃井旅館)

したが、今は大勢で宴会を行う観光客は少なくなりました。特に若い世代は団体行動を避けたり、一人部屋を利用したりするなど、私たちが経営する旅館のニーズに合わないケースが増えています。

今でも老人団体の皆さんなど、根強く利用していただけの団体の利用客もありませんが、個人や少人数でゆっくりしたいという「保養型」の観光客が増えてきているのが現状です。これは時代の流れで仕方の無いことだと思っています。

このことを考えながら取り組むことが重要です。幸い、菊池には菊池渓谷という全国に誇る保養地があります。おいしい食べ物もたくさんあります。今回の認定を弾みにして、なお一層菊池の観光PRに励みたいと思います。

広がる「つながり」

市全体の観光振興を考えたとき、横のつながりの大切さというものを強く感じています。最近では、旅館組合、観光協会や行政といった各団体との連携がうまく取れています。正直、昔はお互いの顔を合わせることは、年に数回しかありませんでした。周りは気にせず我が家だけでもなんとか

なっていたんですよ。でも今の時代そうはいかない。連携して力を合わせなければ、観光都市の再興はもちろん、この厳しい景気を乗り越えていくことはできません。今は連携が取れているおかげで、お互いの考え方や現在取り組んでいることなど、いろんな情報を共有できるようにになりました。また、一緒に広告づくりや宣伝活動などを行うことで、予算の削減にもつながっています。

さらに地域の皆さんにも横のつながりは広がっています。最近では観光業と全く関係の無い人が、イベントの準備や観光PRに協力していただけるようになりました。もちろんボランティアです。市民の皆さんの中にも「みんなで一緒に菊池を盛り上げていこう!」という意識が広がってきたからではないでしょうか。

連携を強くして、みんながつながっていくことで、これからはもっとすごいことができると思っています。市民の皆さんと一緒に、日本の名湯百選に選ばれた菊池温泉をどんどんPRしていきたいです。

日本の名湯百選認定記念
旅館組合温泉無料入浴券

日本の名湯百選認定を記念し、菊池温泉おもてなし企画として無料入浴券をご用意しました。注意事項を確認の上、ページ左下の温泉入浴券を切り取ってご利用ください。

◆注意事項

- 入浴券が利用できる対象施設と入浴可能時間は右表のとおりです。
- 施設の都合により利用できない場合がありますので予めご了承ください。
 - 利用期限は平成23年12月25日(日)までです。
 - 1枚につき1人1回利用可能です。
 - 浴場は各施設指定の浴場をご利用ください。
 - タオル、せっけんなどは各自でお持ちください。

▼菊池温泉観光旅館協同組合加盟店

対象施設	入浴可能時間	電話番号
菊池観光ホテル	12:00～16:00	0968(25)2111
菊池笹乃家	11:00～15:00	0968(25)4000
望月旅館	10:00～16:00 19:00～23:00	0968(25)2185
森山荘	10:00～21:00	0968(25)2705
宝来館	12:00～16:00	0968(25)2703
栄屋旅館	10:00～19:00	0968(25)4171
菊池グランドホテル	12:00～15:00 19:00～21:00	0968(25)3111
清流荘	13:00～15:00	0968(24)2155
城山荘	15:00～19:00	0968(25)2400
湯元旅館	11:00～16:00	0968(25)2108
城乃井旅館	6:00～23:00	0968(25)1188



温泉観光都市・菊池
再興へのキーワード①

『連携』

菊池温泉が日本の名湯百選に認定されたことを受け、報告のため福村市長を訪ねた菊池温泉観光旅館協同組合の二人に温泉観光都市再興へかける思いを聞きました。



日本の名湯百選認定証

泉質だけではない菊池温泉

日本の名湯百選には、数年前からエントリーを続けていました。今年晴れて認定されましたので、組合員一同大変喜んでいました。この認定は、泉質管理はもちろんのこと、自然環境や療養温泉としての取り組みが認められてのことであり、本当に光栄なことだと思っています。

菊池温泉は、無色透明で無味無臭。アルカリ性の泉



いわなが まこと
岩永 誠さん

昭和34年生まれ、隈府在住。菊池温泉観光旅館協同組合理事長。(望月旅館)

質で、癖のない泉質が特徴です。美肌の湯、化粧の湯などと呼ばれ、特に女性に人気があります。

今までも、雑誌や旅行代理店などが行う人気投票では、常に泉質で上位にランクインしていました。しかし、日本の名湯百選は泉質だけでは認定されません。今回の認定は、総合的な評価を受けてのことであり、これまでの頑張りを実を結んだ結果だと、とてもうれしく思っています。

「宴会型」から「保養型」へ

宿泊客の数は平成元年あたりをピークに年々減り続けています。昔は「宴会型」の団体客でにぎわっていた